

# 充実した山桜会活動に 積極的参加を!! 母校への貢献と、同窓との 出合いを楽しもう

会長 川原 俊 明



川原会長

## 《母校の改革支援》

山桜会執行部が、母校の教育改革支援を掲げた同窓会活動は、すでに2期目となりました。その間、私たちは、2008年に創立120周年を迎える母校に対し、学校法人理事会での発言のみならず、各種会合の場面において、次のとおり主張し続けてきました。

記念事業を単なるお祭り騒ぎに終らせてはならない。

120年を学院躍進のための一里塚と考え、この機会に、母校の教育改革・機構改革を実現する必要がある。

山桜会としても、全面協力する。

現に、山桜会は、単なる提言にとどまらず、母校への積極的な応援を具体的に重ねてまいりました。

週刊朝日（2004年8月27日号）の「日本の名門高校ベスト100」に掲載された追手門学院中・高等学校に対する掲載支援。

この記事により、近年、土井邦孝校長のもとで、名門進学校として飛躍的に頭角を現してきた追手門学院中高の存在のみならず、母校・追手門学院の名を世間に知らせる大きな成果を生みました。同時に、山桜会の活動も広く世間に認知されることになりました。

山桜会の活動内容を例示すれば、母校の小・中高の各学校に対する入学式・卒業式での祝賀横断幕の提供、各学校の先生方との教育改革に関する意見交換会の開催、生徒のインターンシップ支援、各クラブ活動に対する応援、現役生徒へ校歌奨励のためのCD校歌集提供計画、大手前・茨木の生徒間交流企画など、卒業生組織として山桜会がなし得る精一杯の教育改革支援を行ってまいりました。

元来、追手門学院が私学である以上、母校を支えるべきは卒業生である、と私たちは自負しています。

一方、山桜会は同窓会組織である以上、同窓の親睦を中心に考えて行動するのは当然の前提です。

参加者100人を超える山桜会チャリティゴルフコンペ、先輩医師を招いての講演会、グルメツアー、観劇会など、秋山副会長率いる文化活動委員会の企画は同窓会の親睦を図る大きなかなめとなっています。

2006年には、山桜会そのものが90周年という大きな節目を迎え、さらに大きな役割を担う必要があります。

## 《年会費へのご理解を》

このような母校の教育改革支援に目に向けた同窓会活動は、先輩後輩の枠を超えた多くの山桜会会員のボランティア活動に支えられています。

今期から新たに発足したジュニア部会と女性部会。山桜会の若者たちや女性陣のめざましい活躍が、山桜会の大きな活動の原動力となっています。

当然のことながら、山桜会の活動自体は、すべてが会員のボランティアで成り立っています。

私達は、同窓会活動により、会員相互だけでなく、PTA、先生方との縦横の人脈形成、人とのふれあいを享受することができます。その意味で、ぜひとも、一人でも多くの会員の皆様に、多彩な山桜会活動にご参加くださるよう、私達からも心からお誘い申し上げます。

しかしながら山桜会の活動が活発に、しかも大きくなればなるほど、活動を実現するための経費が増大するのも事実

です。

現在、山桜会活動をお知らせする山桜会会報の発行やホームページの運営。一人一人の卒業生の現住所把握作業を含め会員名簿発行に向けた会員動向の把握。現役生徒に対する支援活動。その他、拡大する山桜会活動をさらに強化し、母校の教育改革支援実現のためには、みなさまからの貴重な年会費がぜひとも必要なのです。皆様の年会費は、母校の改革支援に役立っているのです。

年会費納入に、ぜひともご協力のほどお願い申し上げます。

## 《新年会へのお誘い》

山桜会では、前述のとおり、母校の120周年記念事業に向けた教育改革支援を重視しております。これを実現するためには、追手門学院関係者が一丸となった協力体制が必要です。

山桜会では、会員相互の親睦を深めるとともに、学校法人、各先生方、PTA、父母の会、教育後援会、大学校友会、ご家族、その他あらゆる団体・個人と協力し、互いに理解を深める必要があります。

毎年1月に開催される山桜会の新年会は、まさに、追手門関係者との新たな出会い、あるいはお互いの親交を深める場として、ますます大きな役割を担っています。

その意味で、山桜会の新年会は、会員だけの総会とはまた違った開かれた社交場でもあります。

そこで、山桜会会員の皆さんには、ぜひとも、ご家族・ご友人をお誘いのうえ、ご参集くださるようお願い申し上げます。